

東南アジアの自然と農業研究会

第 103 回研究例会のご案内

第 103 回定例研究会を開催いたします。今回は、京都大学農学研究科の西村 佐栄子氏に下記のように報告していただきます。年末のお忙しい時期かと思いますが、皆様の多数のご参加と活発な討論を期待してお待ちしております。

記

日 時： 2001 年 12 月 21 日（金）午後 4 時～午後 6 時

会 場： 東南アジア研究センター 東棟 2 階第 1 教室

京都市左京区吉田下阿達町 46

川端通り荒神橋東詰め

話題提供者： 西村 佐栄子 氏

話 題： 「マングローブ林地帯における社会林業の初期展開

- イラワジデルタを事例として - 」

要 旨： ミャンマーにおける社会林業は、森林局によって 1995 年に発布された『Community Forestry に関する指針』以降、本格的に試みられてきた。特にイラワジデルタ河口部のマングローブ林では、その造林面積が他地域に比べて急速に増加している。

今回の発表では、このマングローブ地帯において、社会林業が急速に普及している郡とそうでない郡での聞き取り調査を元に、社会林業がどのように展開しているのかを比較し、農民・漁民にとって何が社会林業参加へのインセンティブになっているかを探る。

問い合わせ先： 富田晋介 京都大学農学研究科熱帯農業生態学研究室

Tel. 075-753-6352 mailto: tomita@kais.kyoto-u.ac.jp

柳澤雅之 京都大学東南アジア研究センター

Tel. 075-753-7345 mailto: masa@cseas.kyoto-u.ac.jp

ホームページ： <http://rtomita.kais.kyoto-u.ac.jp/~sizen/>